

行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	沖縄体験滞在交流促進事業	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局庁	沖縄振興局	担当課室	特定事業担当参事官室	吉住参事官		
会計区分	一般会計	上位政策				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	予算補助	関係する計 画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	沖縄の特性を活かした滞在型、参加型観光を促進し、地域の活性化を図るため、地域外住民が沖縄のめぐまれた自然や独特の伝統文化を体験し、地域住民との交流を図ることができるように、市町村が地域住民の創意、工夫を活かして行う事業を支援する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	施設整備及びプログラム作成等一体型事業 体験滞在プログラムの作成やインストラクター研修等のソフト事業を実施するとともに、同プログラムの実施に必要な体験提供施設を整備 沖縄県に対する補助率:2/3					
実施状況	平成21年度の体験滞在交流促進事業は粟国村において2か年事業の初回として実施。ソフト事業では、プログラムの企画・開発や体験プログラム使用物品の手配等を実施(14百万円)。ハード事業では体験交流ビジターセンター施設の整備を実施(40百万円)。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	54	54	54	54	
	執行額	54	54	54		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	81	81	81		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	実施事業の進捗については、現地に赴き確認した。また、補助金の額の確定時においては、支出等に関する書類により適正性を確認した。				
	見直しの 余地	平成22年度で完了する本事業が今後目指すべき方向・展開としては、①地域住民を巻き込んだ仕組みづくり、②魅力あるプログラムの開発・改良などの一層の工夫、③HPの活用や旅行代理店等とのタイアップしたツアーの企画づくり、④修学旅行生等の固定客の確保やリピーターの増加につながる集客力づくりなどが求められる。				
化予 算 監 視 の 所 効 見 率	事業の成果について適切に検証できる仕組みを検討すべき。					
補 記						

内閣府  
54百万円

交付金の交付決定

A. 沖縄県  
54百万円

補助事業の実施(1件)

【補助】  
B. 粟国村  
54百万円

プログラム作成等事業  
及び施設整備事業の  
実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 沖縄県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	沖縄体験滞在交流促進事業(栗国村)補助金の交付	54			
計		54	計		0
B. 栗国村			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	施設建築工事請負	36			
外部委託	プログラム作成等事業関係委託業務	8			
外部委託	用地測量・設計管理業務請負	4			
物品購入費	体験プログラム使用物品	4			
その他	プログラム検討委員旅費、講師旅費、事務消耗品費、指導監督費	2			
計		54	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0